

窪野々市線の自転車走行指導帯の整備

VS303 6班 しま太郎 (担当:島谷先生)

メンバー:岡田芳 竹崎一博 疋田力斗 畝田有紀 上山亮弥

要望

混雑が予想される窪野々市線道路の改良

現状

- ・ 自転車利用者が多い
- ・ 幅員が狭い
- ・ 信号や標識が少ない



理想の状態

- ・ 歩行者と自転車が安全に通れる
- ・ 事故の減少

問題

自転車レーンの
延伸されていない
窪野々市線

目標

歩道→2.5m以上
自動車道→2.25m程度

3%の事故減少

複数の標識を設置

提案内容

利用者を二つの道
で分離する

評価項目

信号機の設置

2つ

標識の設置

10-12、14-16
と数値を書く

具体的なアイデア

- 1,窪野々市線と夢工房から新公民館までの道の二つの道を利用する。
- 2,二つの道の始まりと終わりにボランティアを配置し、街頭で説明をお願いします。
- 3,それぞれの道の幅員を調整する。

自転車優先道と歩行者
優先道に誘導してもらう。
間違えて、道を通ろうと
している歩行者に注意
喚起してもらう。



自転車
10-12
14-16

イメージ図